尾三消防組合議会会議録

令和6年9月定例会

招集場所	尾三消防本部庁舎3階議場	書記長 水野徳泰
会期	自 令和6年9月27日 至 令和6年9月27日	1日間
出席議員数	議員定数15名	
出席議員	1 番 議 員 青木 けんじ 3 番 議 員 鵜飼 貞雄 5 番 議 員 山田かずひこ 7 番 議 員 大屋 よしお 9 番 議 員 山田 久美 11 番 議 員 中野まさひろ 13 番 議 員 小嶋 立夫 15 番 議 員 渡邊 郁夫	2 番 議 員 岡島 ゆみこ 4 番 議 員 伊藤 真規子 6 番 議 員 なかじま和代 8 番 議 員 福安 淳也 10 番 議 員 加藤のぶひさ 12 番 議 員 水川 淳 14 番 議 員 塚本 克彦
欠席議員	なし	
説明のために出席した者の職・氏名	管 理 者 小浮 正典 副 管 理 者 近藤 裕貴 副 管 理 者 小山 祐 消 防 長 佐野 耕三 次長兼予防課長 松尾 孝司 次長兼特別消防隊長 石川 敏美 総 務 課 長 鷺野 淳一 代表監査委員 相羽 喜次	副 管 理 者 佐藤 有美 副 管 理 者 石橋 直季 事 務 局 長 塚田 力 次長兼消防課長 村瀬 昭二 次長兼指令課長 近藤 和則 会 計 管 理 者 加藤 憲明 総務課統括専門監 富村 尚志
職務のため出席した総務課職員の職・氏名	総務課専門監 川上 良樹 総務課課長補佐 山崎 充	総務課課長補佐 小西 宏和 総務課課長補佐 小林 大介
職務のために出席した者の職・氏名	書 記 長 水野 徳泰 書 記 今井 啓介	
会議録署名者	11 番 議 員 中野まさひろ	12 番 議 員 水川 淳

会議に付した議案及び審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第11号	令和5年度尾三消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について	原案可決
議案第12号	令和6年度尾三消防組合一般会計補正予算（第1号）	原案可決

令和6年9月尾三消防組合議会定例会会議録

下記議案議決のため、令和6年9月27日午後2時から、令和6年9月尾三消防組合議会定例会が、尾三消防本部庁舎3階議場に招集された。

議事日程

- 日程第1 議会運営委員会委員長報告
- 日程第2 管理者あいさつ
- 日程第3 会議録署名者の指名
- 日程第4 会期の決定
- 日程第5 一般質問
- 日程第6 報告第3号
専決処分事項の報告について
- 日程第7 報告第4号
専決処分事項の報告について
- 日程第8 報告第5号
専決処分事項の報告について
- 日程第9 議案第11号
令和5年度尾三消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第12号
令和6年度尾三消防組合一般会計補正予算（第1号）
- 日程第11 管理者あいさつ

出席議員（15名）

1 番 議 員	青木けんじ議員	2 番 議 員	岡島ゆみこ議員
3 番 議 員	鵜飼貞雄議員	4 番 議 員	伊藤真規子議員
5 番 議 員	山田かずひこ議員	6 番 議 員	なかじま和代議員
7 番 議 員	大屋よしお議員	8 番 議 員	福安淳也議員
9 番 議 員	山田久美議員	10 番 議 員	加藤のぶひさ議員
11 番 議 員	中野まさひろ議員	12 番 議 員	水川 淳 議 員
13 番 議 員	小嶋立夫議員	14 番 議 員	塚本克彦議員
15 番 議 員	渡邊郁夫議員		

説明のために出席した者の職・氏名（15人）

管 理 者	小 浮 正 典 君	副 管 理 者	佐 藤 有 美 君
副 管 理 者	近 藤 裕 貴 君	副 管 理 者	石 橋 直 季 君
副 管 理 者	小 山 祐 君	事 務 局 長	塚 田 力 君
消 防 長	佐 野 耕 三 君	次 長 兼 消 防 課 長	村 瀬 昭 二 君
次 長 兼 予 防 課 長	松 尾 孝 司 君	次 長 兼 指 令 課 長	近 藤 和 則 君
次 長 兼 特 別 消 防 隊 長	石 川 敏 美 君	会 計 管 理 者	加 藤 憲 明 君
総 務 課 長	鷺 野 淳 一 君	総 務 課 統 括 専 門 監	富 村 尚 志 君
代 表 監 査 委 員	相 羽 喜 次 君		

職務のために出席した総務課職員職・氏名（4名）

総 務 課 専 門 監	川 上 良 樹 君	総 務 課 課 長 補 佐	小 西 宏 和 君
総 務 課 課 長 補 佐	山 崎 充 君	総 務 課 課 長 補 佐	小 林 大 介 君

職務のため出席した者の職・氏名（2名）

書 記 長	水 野 徳 泰 君	書 記	今 井 啓 介 君
-------	-----------	-----	-----------

午後 2 時開議

◎議長（渡邊郁夫議員）

現在の出席議員数は 15 名です。

よって、令和 6 年 9 月尾三消防組合議会定例会は成立しております。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布しました日程表のとおりです。

日程に先立ち、諸般の報告をいたします。

監査委員より、令和 6 年 4 月分から 6 月分までの例月出納検査の結果報告がありましたので、その写しを配布しました。

それでは、これより本日の日程に入ります。

日程第 1「議会運営委員会委員長報告」、議会運営委員会委員長なかじま和代議員。

◇委員長（なかじま和代議員）

本日、委員 5 名と管理者をはじめ、議長、副議長、関係職員の出席のもと、議会運営委員会を開催し、本定例会について協議しましたので、その結果をご報告申し上げます。

定例会の会期は、本日 1 日とすること。また、会議録署名者は、議長から指名することとしました。

なお、一般質問につきまして、1 名の議員より通告がありましたので、その取り扱いを確認し、申し合わせのとおり質問時間は 15 分以内とし、質問回数は制限ないもの、関連質問は認めないものといたしました。

提出議案につきましては、提案説明の後、質疑、討論、採決の順に行うこととしました。

議案質疑につきましては、2 名の議員より通告がありましたので、その取り扱いを確認し、申し合わせのとおり、同一の議案について、質疑時間は 15 分以内とし、質疑回数は制限ないもの、関連質疑は認めないものといたしました。

以上、ご報告申し上げます。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第 2「管理者あいさつ」をお願いいたします。小浮管理者。

○管理者（小浮正典）

開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日ここに、令和 6 年 9 月尾三消防組合議会定例会を招集しましたところ、議員各位並びに関係諸氏におかれましては、公私ともご多用の中、ご参集を賜り、厚くお礼申し上げます。

先般の 9 月 21 日に発生しました能登半島の豪雨災害では、緊急消防援助隊の愛知県大隊として、当組合からも重機隊と後方支援隊、計 13 名の隊員が派遣され、現在も救助活動に尽力しているところですが、非常に過酷な現状だと聞いております。

被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今回の定例会に提出いたします議案は、専決処分事項の報告3件のほか、決算の認定案件1件と予算審査1件の計5案件でございます。

慎重なる、ご審議を賜りまして、全議案可決いただきますよう、お願いを申し上げます。まして開会のあいさつとさせていただきます。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第3「会議録署名者の指名」を行います。

会議録署名者は、尾三消防組合議会の会議に関する規則第53条の規定により、議長から11番中野まさひろ議員、12番水川淳議員。以上、お二人を今回の会議録署名者に指名します。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第4「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。会期は、本日1日と決定いたしまして、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日と決定いたしました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第5、「一般質問」を行います。

質問時間は、議会運営に関する申し合わせ事項により、15分以内とし、質問回数は制限ないものとします。また、関連質問は認めないこととします。

通告により発言を許します。11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

11番、中野まさひろ。通告に従い質問をいたします。

質問に際しまして、この度の能登地方における豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々の一刻も早い生活の再建もお祈りいたします。

管理者からのご紹介のありました、尾三消防組合から出動されている緊急消防援助隊の皆様の安全と、ご活躍をお祈り申し上げます。

南海トラフ巨大地震等の大規模地震への対策についてです。

今年8月8日、気象庁は、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表、その後、特別な注意の呼びかけは解除されたが、南海トラフ巨大地震は、いつ発生してもおかしくないと言われております。

大規模な地震が発生した際、消防本部が災害対応するためには、その人員、施設、車両、装備、資機材及び水利等の消防力を早期に確保し、災害対応体制を確立することが重要であります。

大規模地震に対する尾三消防組合の対応について伺います。

尾三消防本部庁舎は、平成17年度に耐震改修工事実施済みですが、南海トラフ巨大地震では、想定最大震度6強が予想されております。本部庁舎が機能不全に陥った場

合の対応を伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

佐野消防長。

○消防長（佐野耕三）

消防長、佐野。大規模災害発生時、消防本部庁舎が機能不全に陥った場合は、管内の消防署及び出張所に機能を分散することとなります。

大規模災害時に消防本部が運営する業務を分類すると、消防災害対策本部業務、消防・救急・救助業務及び 119 番通報を受信する指令業務となります。

消防災害対策本部業務につきましては、その機能を管内の署所に移設し、業務を継続します。

消防・救急・救助業務につきましては、管内の署所の庁舎被災状況などを確認し、分散配置することで業務を継続します。

指令業務につきましては、通信事業者の回線切替作業により、豊明・日進・長久手消防署に指令拠点を迂回・分散し、業務を継続します。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

総務省の大規模災害発生時における消防本部の効果的な初動活動のあり方検討会報告書では、東日本大震災の被災地消防本部、岩手県、宮城県、福島県の 36 消防本部では約 25%、9 消防本部において 119 番通報が途絶する状況が発生しています。

これは、地震や津波による通信事業者の中継局の被災によって、広範囲において携帯を含む電話が使用できなくなったことをはじめ、消防本部の指令台や指令センターの被災、また、非常電源の被災によって電源供給が停止したことによるものである、と報告されています。

管内の住民の皆さまにとって、大規模地震発生時に 119 番通報により、助けを求められるか否かは重要な関心事であります。

尾三消防本部の指令センターの機能不全は、通信事業者の中継局の被災、消防本部の指令台や指令センターの被災、非常電源の被災によって電源供給の停止等々、様々なケースが考えられます。

どのような原因であれ、尾三消防本部の指令センターが機能不全に陥った場合の 119 番通報の受信及び消防車・救急車の指令業務については、通信事業者の回線切替作業により、豊明・日進・長久手の各消防署で機能不全に陥っていない消防署に指令拠点を迂回・分散し、指令業務を継続でき、住民の皆さまは、電話や携帯電話が利用できる限り 119 番通報で助けを求められるということでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）
近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）
次長兼指令課長、近藤。迂回・分散する消防署において、市民からの119番通報は可能でありますので、災害対応に当たります。

◎議長（渡邊郁夫議員）
11番、中野まさひろ議員

◇11番（中野まさひろ議員）
尾三消防組合消防力整備計画では、大規模災害への対応力強化が重点取組事項として規定されております。各規定中の主な事項について、進捗状況を伺います。
大規模災害発生時のヒト、モノ、情報及びライフライン等に制限がある環境下で、消防業務を継続するために必要な業務継続計画いわゆるBCPの策定について伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）
佐野消防長。

○消防長（佐野耕三）
消防長、佐野。大規模災害発生時に消防業務を継続できるよう、既に各課で要領等を作成し、運用しておりますが、第8次尾三消防組合消防力整備計画に示す、組織全体の業務継続計画の策定には至っておりません。
今年度は、計画の素案を作成している段階であり、各課において、事務分掌に基づく、業務の優先度区分や業務開始目標時間などを抽出しているところです。
災害時に業務継続が可能な計画となるよう早期の策定を目指し、業務を進めております。

◎議長（渡邊郁夫議員）
11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）
組織全体の業務継続計画は、策定されていないとのことですが、南海トラフ巨大地震は、いつ発生してもおかしくないと言われております。
組織全体の業務継続計画は、早急に策定しなければならないと思いますが、いつまでに策定予定でしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）
村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。業務継続計画は、第8次尾三消防組合消防力整備計画の最終年度である令和10年度までを策定の目標としておりますが、各課から抽出された業務の優先度区分等の取りまとめを行い、今年度中に策定をいたします。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

緊急消防援助隊を受け入れるための集結場所、野営場所の確保について伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

佐野消防長。

○消防長（佐野耕三）

消防長、佐野。緊急消防援助隊の集結場所、野営場所の確保につきましては、愛知県緊急消防援助隊受援計画に基づき、管内の運動公園など11か所を指定し、確保しております。

なお、指定しました11か所のうち、令和3年3月に豊明市文化会館、令和5年3月に株式会社カネヨシと災害時における施設利用に関する協定を締結しており、屋内のライフラインの利用も可能となっております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

緊急消防援助隊を受け入れるための受援マニュアルの策定についてはいかがですか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

佐野消防長。

○消防長（佐野耕三）

消防長、佐野。愛知県緊急消防援助隊受援計画に基づき、平成25年に尾三消防本部受援計画対応マニュアルを策定しております。

なお、受援計画対応マニュアルは、適宜、見直しを図るとともに、毎年、大規模災害対策訓練に緊急消防援助隊受援訓練を取り入れ、実災害を想定した訓練を実施しております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

119 番通報輻輳時の情報処理体制構築について伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

佐野消防長。

○消防長（佐野耕三）

消防長、佐野。大規模災害時は、全職員を招集し対応に当たりますが、初動時に輻輳する 119 番通報に対応するため、現場の警防課職員に対し、毎年研修を行い、指令補助員の増員に努め、災害時の情報処理体制を構築しております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

119 番通報の受信回線は何回線ありますか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）

次長兼指令課長、近藤。指令システムにおける緊急通報回線対応については、指令台で対応可能な回線数は最大 8 回線です。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

東日本大震災の被災地消防本部、岩手県、宮城県、福島県の 36 消防本部では約 25%、9 消防本部において 119 番通報が途絶する状況が発生しています。

119 番通報の途絶等が発生した場合、または 119 番通報の途絶が発生している地域における 119 番通報に代わる災害覚知、災害発生状況の情報収集は、どのようにされる計画でしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）

次長兼指令課長、近藤。119番通報の途絶等が発生した場合には、消防車両による巡回を行い災害覚知及び情報収集、職員の参集途上での情報収集となります。

次に、途絶が発生している構成市町に協力を得て、防災行政無線を活用し、署所への駆け付け通報の広報を行います。

また、消防団の協力を得て、巡回による情報収集及び広報を考えています。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

伝送路の確保のための各車両へのパケット通信等のデータ通信網の整備についてはどうですか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

佐野消防長。

○消防長（佐野耕三）

消防長、佐野。今年度実施している指令システム部分更新で、消防車、救急車に携帯電話の回線を使用したデータ通信が行える車両運用端末装置を整備し、新たな伝送路を確保いたします。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

その車両運用端末装置によりまして、どのようなデータの通信を予定しているのでしょうか。また、そのデータの通信は、現行の通信と比較して、どのように有効であると考えていますでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）

次長兼指令課長、近藤。車両運用端末装置は、主に動態登録機能、指令情報受信機能、GPS機能が備わっており、それらのデータ通信を行っています。

現行の通信は、消防救急デジタル無線の電波によって行われておりますので、無線使用時や不感地帯では、データ通信が不安定となります。

専用通信回線を整備することで、データの送受信が確実に行われ、現行の消防救急デジタル無線の電波を冗長利用することで、より有効であると考えています。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

動態登録機能とは、どのような機能でしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）

次長兼指令課長、近藤。車両運用端末装置の動態登録機能とは、出動車両から指令台に対する現場活動状況の伝送機能で、消防車両において出動や鎮火、救急車からは、車内収容、病院到着などの様々な現場情報を、端末装置のタッチパネル及びハードキーを用いて消防指令システムへ報告する機能です。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

多様な情報通信手段の確保のための、現有の衛星電話に代わる I P 無線の整備はどうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

佐野消防長。

○消防長（佐野耕三）

消防長、佐野。I P 無線は、携帯電話回線を利用した無線で、デジタル無線の不感地帯対策や災害用通信機器としての活用が有効であることから、導入について調査及び研究を進めております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

多様な情報通信手段の確保のために、現有の衛星電話に代わる I P 無線の整備の調査及び研究を進めているということですが、現行の情報通信手段の概要とそれぞれの特性、さらに I P 無線が必要である理由について伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）

次長兼指令課長、近藤。現場活動における主な情報通信手段は、消防救急デジタル無線で、260MHZのこの無線は、電波の特性上、直進性が高いため遮蔽物がある場合には、不感地帯が発生します。

一方、IP無線は、携帯電話の通信網を利用しているため、建物の中でも非常に繋がりがやすく、災害時に強いこと、またグループ通信も可能で、リアルタイムで画像等の情報共有に優れていますので、導入について、調査及び研究を進めております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

丁寧なご答弁ありがとうございました。

いつ起きてもおかしくないと言われております南海トラフ巨大地震。また、近年、日本各地で頻発している豪雨災害等から市民・町民の皆さまの命と財産を守るために、現在も奮闘いただいておりますが、一層のご奮闘をお願いいたしまして一般質問を終わります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

以上で、一般質問を終わります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第6、報告第3号「専決処分事項の報告について」を議題とします。

説明を求めます。石川次長兼特別消防隊長。

○次長兼特別消防隊長（石川敏美）

次長兼特別消防隊長、石川。報告第3号「専決処分事項の報告について」説明いたします。

この報告は、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、損害賠償の額を専決しましたので、同条第2項の規定により、議会に報告するものでございます。

次のページ、専決第2号をご覧ください。

損害賠償額は、15万2,768円。

事故概要につきましては、日進消防署内において、防火防災訓練用に設置した組み立て式の煙体験ハウスが強風に煽られ移動し、敷地内に駐車されていた乗用車に接触し、ボンネットを損傷させたものです。過失割合は、当組合が100%となります。

報告第3号の説明は以上です。

◎議長（渡邊郁夫議員）

報告第3号につきましては、事前に質疑の通告がございませんでしたので、これをもって、報告第3号「専決処分事項の報告について」は、終了します。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第7、報告第4号「専決処分事項の報告について」を議題とします。
説明を求めます。石川次長兼特別消防隊長。

○次長兼特別消防隊長（石川敏美）

次長兼特別消防隊長、石川。報告第4号「専決処分事項の報告について」説明いたします。

この報告は、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、損害賠償の額を専決しましたので、同条第2項の規定により、議会に報告するものでございます。

次のページ、専決第3号をご覧ください。

損害賠償額は、4万700円。

事故概要につきましては、災害出動中に、消防車両が交差点を右折しようとした際に、車体の右側面がカーブミラーに接触し、カーブミラーの支柱を損傷させたものです。過失割合は、当組合が100%となります。

報告第4号の説明は以上です。

◎議長（渡邊郁夫議員）

報告第4号につきましては、事前に質疑の通告がございませんでしたので、これをもって、報告第4号「専決処分事項の報告について」は、終了します。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第8、報告第5号「専決処分事項の報告について」を議題とします。
説明を求めます。石川次長兼特別消防隊長。

○次長兼特別消防隊長（石川敏美）

次長兼特別消防隊長、石川。報告第5号「専決処分事項の報告について」説明いたします。

この報告は、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、損害賠償の額を専決しましたので、同条第2項の規定により、議会に報告するものでございます。

次のページ、専決第4号をご覧ください。

損害賠償額は、20万3,742円。

事故概要につきましては、長久手消防署内において、消防用ホースの耐圧試験中にホースが破裂し、水圧により舞い上がったホースが駐車場に駐車されていた乗用車に接触し、車体の左側面を損傷させたものです。過失割合は、当組合が100%となります。

報告第5号の説明は以上です。

◎議長（渡邊郁夫議員）

報告第5号につきましては、事前に質疑の通告がございませんでしたので、これをもって、報告第5号「専決処分事項の報告について」は、終了します。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第9、議案第11号「令和5年度尾三消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

議案の説明を求めます。鷲野総務課長

○総務課長（鷲野淳一）

総務課長、鷲野。議案第11号「令和5年度尾三消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について」ご説明いたします。

この案を提出するのは、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、議会の認定に付する必要があるからです。決算書に基づいて説明させていただきます。

7ページをご覧ください。歳入です。

表の一番下、歳入合計欄をご覧ください。

予算現額43億7,484万2,000円に對しまして、収入済額は41億9,046万8,819円となりました。

前年度に比べ、1億1,575万2,625円、率にしまして約2.8%の増加となりました。

8ページをお願いいたします。

歳出です。

同じく、表の一番下、歳出合計欄をご覧ください。

予算現額43億7,484万2,000円に對しまして、支出済額は40億5,313万8,156円となりました。

前年度に比べ、7,649万3,311円、率にしまして約1.9%の増加となりました。

9ページをお願いいたします。

先ほどの結果、歳入歳出差引額は、1億3,733万663円となりました。

次に、44ページをご覧ください。

実質収支に関する調書です。

歳入総額41億9,046万8,819円、歳出総額40億5,313万8,156円で、歳入歳出差引額は、1億3,733万663円でございます。

翌年へ繰り越すべき財源、繰越明許費繰越額6,667万9,540円がございますので、実質収支額は、歳入歳出差引額から繰越明許費繰越額を差し引いた7,065万1,123円となりました。

繰越明許費繰越額6,667万9,540円につきましては、車両供給の遅れから、令和5年度中に予定しておりました消防車両3台分の納入が、令和6年度に繰り越されたことによるものです。款3消防費の翌年度繰越額2億5,237万9,540円から、消防車両の購入に際し、見込んでおりました地方債1億8,570万円を翌年度繰越財源としておりますので、その差引額となります。

49ページをご覧ください。

基金の状況です。まず財政調整基金です。

令和4年度末現在高は、1億637円でした。令和5年度中の基金の動きは、取崩額が637円でしたので、令和5年度末現在高は、1億円となっております。

次に消防施設整備等基金です。

令和4年度末現在高は、3億7,583万9,058円でした。令和5年度中の基金の動きは、積立額が1億4,537万2,000円でしたので、令和5年度末現在高は、5億2,121万1,058円となり、基金の合計は、6億2,121万1,058円となっております。

なお、決算の内訳については、添付の決算事項別明細書及び主要施策報告書のとおりとなっております。

議案第11号の説明は以上となります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

ここで、決算審査結果の報告をお願いします。相羽監査委員。

○監査委員（相羽喜次）

代表監査委員の相羽でございます。

議長のご指名がございましたので、過日行いました令和5年度一般会計の決算審査につきまして、監査委員を代表いたしまして、意見を述べさせていただきます。

地方自治法第233条第2項の規定に基づき、管理者より決算審査に付されました令和5年度尾三消防組一般会計歳入歳出決算及び基金運用状況につきまして、東郷町議会議員の水川淳監査委員とともに審査をいたしましたので、その結果について、簡潔に意見を申し上げます。

決算審査は、令和6年7月24日に実施をいたしました。

審査にあたりましては、提出されました令和5年度一般会計歳入歳出決算書及び附属書類が、関係法令に準拠して調製されているか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理は適正であるかなどを主眼に置き、関係諸帳簿及び関係書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を求め、実施をいたしました。

審査の結果についてでございますが、決算書類は、法令に準拠して作成されており、その計数は正確であると認められました。

また、基金の運用状況につきましても、その計数は正確であり、基金条例に基づき管理運用されているものと認められました。

審査の概要につきましては、お手元に配付をしております決算審査意見書の記述のとおりでございます。

決算総額は、歳入が41億9,046万8,819円、歳出が40億5,313万8,156円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、7,065万1,123円でございます。

令和5年度は、令和元年度からの第8次尾三消防組合消防力整備計画の5年目となり、現在の消防事務の処理状況、将来の消防需要についての整理を踏まえ、中間見直し後の将来像を実現するための各種事業を行っていただきました。

組合は、広域化後、消防体制及び事務管理体制ともに統一的な体制が維持され、各市町において差異のないサービスの提供ができているものと思われま。

しかしながら、管内は、住宅の増加、大規模商業施設の開業など都市基盤構造の変化による人口の増加が続いており、今後さらに高齢化等で消防・救急需要が高まることが予想され、体制の強化、職員の確保も重要となってきます。

一方、財政面では、車両の更新や施設の老朽化等により歳出が増加する中、自主財

源を確保するために、用途を廃止した車両の売却及び各種基金の運用などを行っていますが、さらなる歳入の確保にも努めていただきたいと思います。

組合の財政運営は、主に構成市町からの分担金により行われていますが、構成市町の財政状況は、非常に厳しい状況にあります。住民の安全と安心を守る重要な使命を全うするための機器更新や施設の更新は、重要なことではございますが、導入する設備等は、特殊なものであり、その多くが高額なものとなっています。

新規導入や更新をする際には、業務に不可欠な設備や装備であるのか、更新時期は適正であるのか、十分な精査をしていただきたいと思います。

最後に、今後とも健全な経営にご留意いただき、住民サービスの原点である消防力の堅持に努められることを要望し、決算審査のむすびといたします。

なお、詳細につきましては、お手元の決算審査意見書をご一読いただければと思います。

以上で、監査報告を終わります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

これより、議案第11号に対する質疑を許します。通告受付順により質疑を許可いたします。9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

9番、山田久美。歳入の5款2項1目1節、物品売払収入、526万4,600円についてですが、議案説明資料で、車両更新に伴い、全5台分を売却処分したとありましたが、売却処分をした車両はどれだけの年数が経っていたのでしょうか。

また、車両の種類は何だったのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。令和5年度に売り払いした車両は、水槽付き消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車1台、はしご付き消防自動車1台、高規格救急自動車1台、合計5台です。

この5台の経過年数につきましては、水槽付き消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、はしご付き消防自動車は20年、高規格救急自動車は10年でございます。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

売却する基準についてですが、走行距離数によるものなのか、それとも購入してからの年数によるものなのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。売却する車両は、走行距離によるものではなく、購入後の経過年数を基準にしています。

現在の車両更新計画では、消防車は20年、救急車は10年を目安に更新していますが、更新年が経過した車両を非常用車両として活用することもあるため、計画年数以上に使用することもあります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

2款1項1目7節、報償費、表彰費で不用額が生じていますが、該当者がいなかったのでしょうか。また、どのような方が表彰の対象となるのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

鷲野総務課長。

○総務課長（鷲野淳一）

総務課長、鷲野。表彰費は、尾三消防組合表彰規則に規定する要件に基づき、消防に対して特に貢献し、その功績が顕著な方に対して、表彰状等を授与し、併せて記念品を贈呈するため、支出しております。

事案が発生した都度、表彰を行う随時表彰では、火災で初期消火等を行っていただきました3名をはじめ、救急業務にご協力いただいた7名、また広報用パネルの原画を作成していただいた1名、さらに物品のご寄附をいただいた2団体に表彰を行いました。

消防出初式等で授与する定期表彰では、尾三消防管内の消防機関相互の連携強化や消防思想の普及を図り、消防体制の充実強化などを推進された方々に対しまして、団体では12団体、個人では4名の方に表彰を行いました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

2款1項1目12節、委託料、弁護士顧問委託料66万円についてですが、金額が安いのですが、どのような事案が何件あったのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

鷲野総務課長。

○総務課長（鷲野淳一）

総務課長、鷲野。当組合の求めに応じて、法律的な指導、助言を得るため、毎年、委託契約を締結しており、令和5年度は消防業務に関する2案件について随時相談を行い、助言をいただいております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

2款1項2目3節、職員手当等、時間外勤務手当が令和4年度よりも159万9,208円増額となっておりますが、現場での滞在時間等が長くなったためなのでしょうか。それとも何か他の要因があったのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

鷲野総務課長。

○総務課長（鷲野淳一）

総務課長、鷲野。令和5年は火災出動が13件、救急出動が1,060件増加しましたので、時間外勤務手当が増額したこと、また令和6年1月に発生した能登半島地震に伴い、緊急消防援助隊として応援出動しましたので、これらのことが主な要因の一つとして考えられます。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

2款1項2目12節、委託料、B型肝炎等予防接種委託料ですが、令和4年度と比べて81万3,109円の増額となっておりますが、予防接種を受けられた職員の方が増えたためなのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

鷲野総務課長。

○総務課長（鷲野淳一）

総務課長、鷲野。B型肝炎等予防接種委託料で支出しておりますのは、B型肝炎の抗体検査、抗原検査及びワクチン接種に係る費用と、感染4種の抗体検査及びワクチン接種に係る費用になります。

議員の言われるとおり、令和5年度は、令和4年度に比べB型肝炎、感染4種合わせて延べ139名、ワクチン接種した人数が増えましたので、これが増額の主な理由になります。

◎議長（渡邊郁夫議員）
9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）
ご答弁で、B型肝炎の抗体検査や抗原検査及びワクチン接種、感染4種とのことでしたが、感染4種というのはどの様なものなのか、内容をお願いします。

◎議長（渡邊郁夫議員）
鷲野総務課長。

○総務課長（鷲野淳一）
総務課長、鷲野。感染4種は、麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）、水痘（水ぼうそう）、ムンプス（おたふく風邪）のことで、職員が発症した場合、感染力が強く、業務継続への影響が大きくなりますので、令和3年度から令和5年度にかけて、全職員が抗体検査を行い、必要な職員はワクチン接種を行いました。

◎議長（渡邊郁夫議員）
9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）
3款1項1目10節、需用費、職員被服費2,136万687円ですが、令和4年度に比べて309万5,682円の増額となっております。これは職員の制服代なのでしょうか。また、何人の方の被服費となっているのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）
村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）
次長兼消防課長、村瀬。職員被服費は、制服だけではなく、活動服、救助服、救急服のほか、災害現場で使用するヘルメット、防火衣など業務遂行中に着用するすべての被服を含んでおり、令和5年度は、317名に貸与しております。

◎議長（渡邊郁夫議員）
9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

3款1項1目18節、負担金、補助及び交付金、救急救命士養成負担金 784万7,900円ですが、令和4年度よりも375万1,300円増額となっております。

主要施策報告書には、令和6年3月31日現在、80名の方が救急救命士として活動していると書いてありました。令和5年度は何人の方が受けられたのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。令和5年度は、救急救命東京研修所に3名、名古屋市救急救命研修所に1名の合計4名が、入所しております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

令和5年度決算では、不用額として28万5,252円とありますが、毎年何名の方が受けておられるのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。救急救命士の新規養成者数は、尾三消防組合消防力整備計画に基づき、毎年5名を養成することとしておりますが、救急救命研修所の受け入れ状況等により、減員する場合がございます。

なお、不用額28万5,252円につきましては、救急救命士の再教育等に係る負担金額の減額、職員の専門性を高めるための消防救助研修に係る負担金額の減額などがございます。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

3款1項3目11節、役務費、NET119利用料ですが、主要施策報告書にNET119での消防機関出動件数が12件、FAX119での通報件数が1件とありました。

このシステムを利用される方は、聴覚障がいの方や言語に障がいのある方などが主に利用されると思いますが、病院への搬送時では意思の疎通はできていたのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

石川次長兼特別消防隊長。

○次長兼特別消防隊長（石川敏美）

次長兼特別消防隊長、石川。NET119及びFAX119による救急事案は、聴覚や発語に障がいのある傷病者でありますので、救急現場での意思疎通は主に筆談やジェスチャーで行っております。

また、声を文字化できるスマートフォンアプリも取り入れ、問題なく対応できております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

3款1項3目12節、委託料、NET119説明会手話通訳等委託料ですが、説明会は何回開催されて、何名の方の参加があったのでしょうか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）

次長兼指令課長、近藤。令和5年12月23日に、豊明消防署で1回開催いたしました。

参加者は4名で、2名の新規登録、2名の登録データの変更を行いました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

9番、山田久美議員。

◇9番（山田久美議員）

説明会は、豊明市消防署で行われたとの事ですが、NET119のことを、まだ、ご存じない聴覚障がいの方もおられるのですが、参加された方は、どこの地域の方なのでしょうか。

議長（渡邊郁夫議員）

近藤次長兼指令課長。

○次長兼指令課長（近藤和則）

次長兼指令課長、近藤。登録会に参加された方の居住地は、新規登録者2名の方は、豊明市とみよし市の方です。登録データの変更された方は、豊明市と日進市の方になります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

次に、11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

通告に従い議案質疑をいたします。

歳入、9款1項1目、諸収入、長久手消防署庁舎使用経費負担金の内容と、なぜ必要なのかを伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

鷲野総務課長。

○総務課長（鷲野淳一）

総務課長、鷲野。消防広域化初年度の平成30年4月1日付で長久手市と「建物使用に伴う経費負担に関する覚書」を締結し、建設部区画整理課が長久手消防署の一部を事務所等として使用したことに伴い、消防庁舎の使用及び維持管理に係る経費をご負担いただくこととしております。

ご負担いただいた経費の内訳は、光熱水費のほか、当組合が契約している建物の保険、庁舎清掃、消防用設備の点検、空調設備の点検等で、長久手市が使用している消防庁舎の占有面積をもとに負担金を算出し、令和5年度は64万2,980円をご負担いただきました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

同じく諸収入、救急車同乗実習生受入金とは、どのような実習生の受け入れですか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。救急車同乗実習生につきましては、管内のみよし市にございます救急救命士の専門学校の学生になります。

令和5年度は、2年生47名を受け入れております。

なお、救急車同乗実習生の受け入れにつきましては、令和3年度から毎年度、実施をしております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

同じく諸収入、メンタルヘルス関連講座助成金とは何か伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

鷺野総務課長。

○総務課長（鷺野淳一）

総務課長、鷺野。メンタルヘルスに関連する研修を行った際に、愛知県市町村職員共済組合から助成金の交付を受けることができるもので、令和5年度は、惨事ストレス研修を3回実施し、計137名の職員が受講いたしました。

講師にお支払いした謝礼金3万9,000円を諸収入で、メンタルヘルス関連講座助成金として収入したものです。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

歳出、5款1項1目、予備費、札幌市で開催の全国消防救助技術大会への隊員と指導者及び特別消防隊長3名派遣のための旅費ということだが、なぜ災害などの予測不能な支出に対する対応が、一般的な予備費からの充用となっているのか。

◎議長（渡邊郁夫議員）

石川次長兼特別消防隊長。

○次長兼特別消防隊長（石川敏美）

次長兼特別消防隊長、石川。全国消防救助技術大会へは、愛知県・岐阜県・三重県の救助隊員が一斉に集う消防救助技術東海地区指導会で、最高位の成績により出場することが可能となります。

出場の可否、訓練種目により人数も増減するため予算編成が困難でありますので、構成市町との協議の結果、予備費を充用することとしております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

3主要施策報告書、3主な事業、（8）消防業務の状況、ウ火災以外の出動状況について伺います。

出動1件に対する出動消防車両数、出動職員数が増えているがなぜか伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。火災以外の出動に、誤報、危険物漏えい、ガス漏れ、その他がございます。このうち誤報につきましては、一般住民の方からの通報もございますが、警備会社からの通報がほとんどです。

警備会社が設置した設備で、火災信号を受信した場合、警備会社から消防に出動の要請が入ります。消防隊が現場に到着後、状況を確認し、火災ではない場合、誤報としています。

令和4年中の誤報の出動件数が157件、令和5年中の誤報の出動件数が179件ございました。

警備会社から火災信号を受信したと通報が入った場合、結果的に誤報となることが非常に多かったことから、令和4年までは、直近のタンク車1台と水槽車1台の2台で対応しておりましたが、令和5年からは、災害実態が把握できない限り、通常の火災出動体制、建物火災なら10台の車両が出動する体制に移行しておりますので、出動消防車両数、出動職員数が増えております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

警備会社が設置した設備で、火災信号を受信した場合、警備会社から消防に出動の要請が入り、消防隊が現場に到着後、状況を確認し、火災ではない場合、誤報としています。という答弁でしたが、誤報でなく火災であった件数が何件あったか伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。火災信号の受信件数は令和4年中が161件、うち火災4件、令和5年中は181件、うち火災2件でございました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

建物火災なら10台という答弁でしたが、通常の火災出動体制における車両の構成を教えてください。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。尾三消防本部警防規程に基づき、建物火災の出動車両は、所轄指揮車1台、タンク車4台、水槽車2台、救助工作車2台、調査車1台の計10台でございます。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

令和5年からは、災害実態が把握できない限り、通常の火災出動体制、建物火災なら10台の車両が出動する体制に移行した理由を教えてください。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。警備会社からの要請は、誤報となる場合が多いものの、実火災は、ゼロではありません。

令和4年までの2台体制では、実火災の場合、対応が遅れることが予想されるため、火災による被害の軽減を最優先とした通常の火災出動体制に移行したものです。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11番、中野まさひろ議員。

◇11番（中野まさひろ議員）

充実した出動によって、他の火災対応に支障が出たことはなかったか伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

村瀬次長兼消防課長。

○次長兼消防課長（村瀬昭二）

次長兼消防課長、村瀬。先着隊の状況確認により、誤報と判明した時点で、現場指揮者から、減隊の指示を出し、次の災害に備えることとしており、これまで、大きな支障は出ておりません。これも、消防広域化のスケールメリットであると考えております。

◎議長（渡邊郁夫議員）

11 番、中野まさひろ議員。

◇11 番（中野まさひろ議員）

4 主要施策報告書、5 基金の状況、尾三消防組合消防力整備計画で、数値目標を設定しているが、各基金の決算年度末現在高の目標に対する評価を伺います。

◎議長（渡邊郁夫議員）

鷲野総務課長。

○総務課長（鷲野淳一）

総務課長、鷲野。当組合は、地方自治法第 241 条の規定に基づき、条例を制定し、財政調整基金及び特定目的基金である消防施設整備等基金を設けております。

財政調整基金は、消防車両の故障など、緊急に対処しなければならない事態が発生した際に、構成市町の財政措置を待つことなく、速やかに組合議会の議決を経て予算措置ができるよう、1 億円を上限に保有しており、令和 5 年度末現在高も 1 億円となっております。

消防施設整備等基金は、消防施設の整備及び維持管理のために積み立てており、積立額は毎会計年度、一般会計歳入歳出予算に定める額と規定されております。

議員の言われる数値目標につきましては、令和 3 年 3 月に策定しました個別施設計画、いわゆる施設の長寿命化計画になりますが、ここで、今後 38 年間に総額約 65 億円、年で平均しますと、毎年、約 1 億 7,000 万円の費用が必要になるとの試算がございますので、庁舎の建設や大規模修繕のタイミングにもよりますが、この試算した額が目標値になると考えております。

消防施設整備等基金条例は、令和 3 年度に制定されておりますので、試算した年額 1 億 7,000 万円を令和 3 年度からの 3 年間で考えますと 5 億 1,000 万円になり、決算年度現在高は 5 億 2,121 万 1,058 円ですので、事業を推進するため、計画的に積み立てることができていると評価しております。

◇11 番（中野まさひろ議員）

丁寧なご答弁ありがとうございました。

以上で、議案質疑を終わります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

以上で、議案に対する質疑を終わります。これより討論に入ります。

議案第 11 号に対する反対討論の発言を許します。

〔発言する者なし〕

次に、賛成討論の発言を許します。

〔発言する者なし〕

これをもって、討論を終結します。

これより、採決いたします。議案第 11 号「令和 5 年度尾三消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について」は、原案を認定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

起立全員であります。よって、議案第 11 号は、原案のとおり可決されました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第 10、議案第 12 号「令和 6 年度尾三消防組合一般会計補正予算（第 1 号）」を議題とします。議案の説明を求めます。鷺野総務課長。

○総務課長（鷺野淳一）

総務課長、鷺野。議案第 12 号「令和 6 年度尾三消防組合一般会計補正予算（第 1 号）」について、ご説明いたします。

補正予算書 3 ページをご覧ください。

歳入歳出予算の補正は、歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ 4,601 万 9,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 48 億 1,576 万 7,000 円とするものです。

10、11 ページをお願いいたします。

歳入の款 3 項 1 目 1 緊急消防援助隊設備整備費補助金は、全国的な緊急消防援助隊登録車両の増加による補助金分配の影響により、当初予算で見込んでいた補助額より、減額された補助額で決定されたため減額するものです。

款 4 項 1 目 1 消防交付金は、石油貯蔵施設立地対策等交付金で、名古屋市の交付金算定石油貯蔵量が減少し、配分額の減額に伴うものです。

款 8 項 1 目 1 繰越金は、議案第 11 号の決算説明書 44 ページでご説明した実質収支額 7,065 万 1,123 円のうち 5,065 万 1,123 円を、前年度繰越金として、一般会計へ組み入れるものです。

款 9 項 1 目 1 諸収入は、高速自動車国道救急業務に関する支弁金で、支弁金の算定で用いる人口規模別分類係数が 2%から 1%に下がったことによる減額です。

12、13 ページをお願いいたします。

歳出の款 2 総務費、項 1 総務管理費、目 4 財産管理費の節 12 委託料は、長久手消防署大規模修繕に伴い、庁舎の耐震診断を行うものとしていましたが、新耐震基準後に建築された建物については、構成市町では、耐震診断ではなく長寿命化調査を行っていることから、長寿命化調査に基本設計業務を含めた業務に事業転換を図るものです。

また、節 24 積立金は、説明欄にありますように財政調整基金に、4,601 万 9,000 円を積み立てるものです。

次に、款 3 項 1 目 1 消防費は、歳入の補正に伴う財源更正です。

議案第 12 号の説明は、以上となります。

◎議長（渡邊郁夫議員）

議案第 12 号については、質疑の通告がございませんでしたので、これより討論に入ります。

議案第 12 号に対する反対討論の発言を許します。

〔発言する者なし〕

次に、賛成討論の発言を許します。

〔発言する者なし〕

これをもって、討論を終結します。

これより、採決いたします。議案第 12 号「令和 6 年度尾三消防組合一般会計補正予算（第 1 号）」は、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

起立全員であります。よって、議案第 12 号は、原案のとおり可決されました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

以上で、本議会に付議されました案件は全て終了いたしました。

お諮りします。本議会において、議決されました議案の条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。よって、議決されました議案の条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、議長に委任することに決定しました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

日程第 11「管理者あいさつ」をお願いします。小浮管理者。

○管理者（小浮正典）

閉会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

先程は、上程いたしました議案につきまして、全議案、原案どおり議決をいただきましたことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

また、相羽喜次監査委員におかれましては、決算審査のご報告をいただき、ありがとうございました。

今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、猛暑も一段落し、朝夕めっきり涼しくなってきましたが、一方では、体調管理が難しい季節でもあります。

議員の皆様におかれましては、健康管理にご留意いただき、ますますご活躍されますよう祈念申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

◎議長（渡邊郁夫議員）

閉会にあたり、私からも一言ごあいさつを申し上げます。

先程は、本議会に提出されました議案を慎重にご審議いただき、適切な議決をされましたことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

議員各位におかれましては、各市町におかれまして議員活動などご多用とは存じま

すが、くれぐれもご自愛いただき、今後も消防行政推進に、ご理解ご協力を賜ります
よう、お願い申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。ありがとうご
ざいました。

これをもちまして、令和6年9月尾三消防組合定例会を閉会いたします。

午後3時9分閉会

上記会議録が正確であることを署名する。

令和6年9月27日

議

長

渡邊 郁夫

会議録署名者

中野 まさひろ

会議録署名者

水川 淳